

令和1年10月19日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 浅野 令子 様

(あしや市民活動センター指定管理者)  
特定非営利活動法人あしや NPO センター  
事務局長 橋野 浩美

### 災害時対応セミナー 災害時の食報告書

- 1 開催日時：令和1年10月19日（土）10：30～13：00
- 2 担 当：橋野
- 3 参加者数：21名（内 ボランティア1人）
- 4 講 師：藤井 智生 氏（コープこうべ第2地区本部）
- 5 協力団体：阪神南地区ビジョン委員会、神戸新聞社
- 5 内 容
  - (1) 目 的：2019年度災害時対応セミナー第2回 防災食と災害食の違いを理解し、日常の食を備蓄に活かすローリングストックについて学ぶ。
  - (2) 内 容：家庭の食糧備蓄率や、避難所での食事情などを織り込み、日常の食事が防災食になるというローリングストックについて学ぶ。  
ポリ袋を使ってご飯や副食をつくり試食した。
- 6 アンケート結果：回答数：12  
【満足度】  
とても役立った…11、少し役立った…0、物足りなかった…1  
役立たなかった…0
  - ・大変楽しく学習できた。子どもたちにも伝えていきたい。(50代女性)
  - ・実際に作って食べられることで不安が減り、レシピを考えつくり慣れることでメニューも増え楽しみながらローリングストックを利用して、災害食＝普通の食事へとつなげていく。(50代女性)
  - ・参加者は女性が多く、若い方もいて感心した。色々と学ぶことがあり、藤井講師が熱弁されて良かった。(70代男性)
  - ・大変役に立った。(70代男性)
  - ・非常食を備蓄しなければという考えが、ローリングストックという方法で備蓄が楽に考えられるようになった。簡単な調理で美味しく食べられることも学べてとても役立った。(50代女性)
  - ・保存食の諸費期限をよく切らしていたので、取り入れたい。お米が簡単に炊けることがわかり、良かった。(40代女性)
  - ・非常食の考え方が変わった。柔軟に食べていきたい。(70代男性)
  - ・調理実習、今晚家族に食べさせたいくらい！(70代女性)
  - ・調理実習勉強になった。生活の中にヒントになりそうなことが色々ありそう。

これからは意識しようと思う。

- ・楽しく参加できた。災害食のヒントをたくさん頂いた。できることから実行したいと思う。(60代女性)
- ・知識として知っていた内容だが、体験してみることで「普段からやってみる、食べてみる」大切さを感じた。想像以上に美味しかった。(40代女性)

【参加理由】(複数回答)

- ・興味がある。勉強してみたい。 ..... 9
- ・防災のグループを持っている。自団体の参考のため..... 2
- ・引き続き防災時対応セミナーに参加予定 ..... 5
- ・リードあしやから案内があったから。 ..... 5
- ・その他(図書館のチラシ配架) ..... 1

【開催してほしい講座・イベント等】

- ・被災した時のやるべきことやお金に関すること。
- ・ACP
- ・死生

7 振り返り

- ・参加者は、幼稚園児、高校生、30代~70代の女性、50代・70代男性と多世代交流ができた。特に、70代男性を手伝う女子高生が微笑ましかった。
- ・防災についてを、改めて学び、避難所のことを絡めながら備蓄に持っていく、講師の手法が、参加者の満足感を得た。
- ・ポリ袋を使ったご飯、副食の試食では、歓声があがるほどの出来栄であった。
- ・備蓄という大きな壁を日常のもの、肩ひじ張らずに出来るものとして受け取っていただけ、参加者の方々にはアンケートからも分かるように満足していただき、今後トライする気持ちになったようだ。

以上



